

豪快に書で決意

管内高校書道部 書き初めパフォーマンス



力強く筆を振るってパフォーマンスを披露する帯広柏葉高書道部員(2日、折原徹也撮影)

十勝管内9高校の書道部による「書き初め2015」パフォーマンス書の展(実行委、藤丸など主催)が2日、藤丸7階で始まった。各校書道部員が音楽に合わせて豪快に書をしたため、新年への思いや決意を表現した。仕上がった作品は同階のEホールに展示される。

2日は帯広柏葉高と江陵高の書道部が披露。柏葉高書道部(東采紋11歳あや11部長、部員63人)は、1・8センチ×10センチの紙に「龍翔鳳舞(りゅうしょうほうぶ)」と迫力あふれる文字で書い

た。部員の勢いのある筆さばきに、観客は終始くぎ付に。東部長は「龍のように力強く羽ばたくという縁起の良い熟語。勢いのあるパフォーマンスができて良かった」と笑顔で話した。

江陵高書道部(会田柗斗部長、部員23人)は「百花繚乱」の文字や今年のえとの「未」を水墨画で表現。墨の濃淡鮮やかな作品が完成した。会田部長は「練習の成果を出し切れた。目を引くように一生懸命書いた」と話していた。

3日は帯南商、帯大谷、音更高校が出演。4日は帯三条、池田、芽室、帯北高校が午前11時から披露する。また、管内高校11校の大書作品展が6日までEホールで開かれている。(松田聖吾)

動画あり
かきぞく(紙媒体)
読者電子版で

でEホールで開かれている。(松田聖吾)